

# クロアチア情勢

## 主な出来事

2018年6月

### 内政

- 1日、クロアチア警察は、ドニ・スルブ(当国中部ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)国境近く)において、違法な難民の密航業者1名を逮捕したと発表。また、ボイニッチ及びオジャリにおいて、外国人35名及び4人のクロアチア人密航業者を逮捕。
- 4日、クロアチア民主同盟(HDZ)執行中央委員会が開催され、シュティール議員及びコバチ議員をそれぞれ政策局長及び国際局長から解任し、後任としてクシュチェビッチ行政大臣及びボジノビッチ内務大臣がそれぞれ新たな政策局長及び国際局長に任命。
- 6日、オシエク＝バラニャ県裁判所は、マミッチ前ディナモ・フットボール・クラブ会長に脱税等の罪で6.5年の禁固刑とする通達状を発令。
- 6日、クロアチア・スロベニア間の国境警備隊に暴力を振るおうとした移民に対し、警備隊が警告発砲。
- 11日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、クロアチアの人口政策に関する提言を発表。
- 18日、約200人の不法移民がボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)からクロアチアへ入国を試み、BH警察によって制止される事件が発生。
- 18日、汚職・組織犯罪対策本部(USKOK)は、野党「人間の壁」によるプレンコビッチ首相、ダリッチ前経済・中小企業相、マリッチ財務相及びラムリャック前アグロコル管財責任者に対する訴えをそれぞれ却下。
- 19日、ドブロブニク＝ネレットバ県の公共医療機関は、2018年5月25日から6月18日の間に17件の麻疹患者が確認されたことを報告。
- 20日、市民団体「イスタンブール条約の真実」は、イスタンブール条約批准の取消しに関する国民投票を求める署名を議会に提出。
- 22日、シサク近郊で、反ファシスト闘争の日記念式典が開催。
- 25日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、クロアチア建国記念日レセプションを開催。
- 26日、グラバル＝キタロビッチ大統領及びヤンドロコビッチ議会議長は、ザグレブにおいて欧州評議会議員会議(PACE)が主催したクロアチアのEU加盟5周年記念会合に出席。

## 外交

- 1日、ヤンドロコビッチ議会議長及びペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、クロアチア議会において開催された欧州評議会議員会議(PACE)に出席。
- 5日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、クロアチアを訪問したヴェンツェル欧州評議会開発銀行(CEB)総裁と会談。
- 6日、プレンコビッチ首相は、ミュンヘンにおいて開催された欧州人民党グループ(EPP)の会合に出席。
- 8日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、ザグレブにおいて、ポルタフチェンコ・サンクトペテルブルク市知事と会談。ザグレブ・サンクトペテルブルク経済フォーラムが開催。
- 8日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、クロアチア経済会議所及び欧州委員会が主催した欧州外的投資計画(EIP)会合に出席。
- 8日、ボジノビッチ内務相は、当国を訪問したジャファ・アルバニア内務相と会談。
- 11日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、スプリットにおいて、中欧イニシアティブ(CEI)外相会合を議長国として開催。
- 13－14日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、ブリュッセルを訪問。13日、トウスク欧州理事会議長との会談及び欧州政策センターにおいて講演、14日、ストルテンベルグNATO事務総長と会談。
- 14日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、ウィーンで開催されたOSCE常設理事会に出席。
- 16日、プレンコビッチ首相は、オーストリアにおいて、クルツ・オーストリア首相と会談。
- 18日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、欧州評議会の議長国の活動の一環として、ストラスブールで少数民族に関する会合を開催。
- 18日、欧州委員会は、スロベニアの提起したクロアチアがEU法を侵害しているという訴えに関して、クロアチア・スロベニア国境画定問題に関与しない、また、意見を述べない旨表明。
- 19日、ヤンドロコビッチ議会議長は、クロアチアを訪問したチョービッチBH統領評議会議長と会談。
- 20日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相及びホルバット経済・中小企業相は、ザグレブにおいて、ミッチェル米國務次官補(欧州・ユーラシア担当)と会談。
- 25日、プレンコビッチ首相は、欧州評議会を訪問し、モリー＝パスキエPACE議長及びヤーグラン欧州評議会事務局長と会談。また、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、ストラスブールで開催された欧州評議会議員会議(PACE)に出席。
- 26日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、ルクセンブルクで開催されたEU総務理事会(GAC)に出席。
- 28－29日、プレンコビッチ首相は、ブリュッセルで開催された、移民・難民問題に関するEU首脳会合に出席。

## 経済

- 5日、世界銀行は、世界経済見通しを公表。2018年のクロアチアの経済成長率は2.6%と、1月時点の見通し(2.7%)から下方修正。また、2019年は2.7%、2020年は2.8%との見通し。
- 11日、グラバル=キタロビッチ大統領は、人口対策に関する提言を発表。クロアチアから離れた移住者の帰還の促進、競争的なビジネスを生み出す環境の整備等を政府に提案。
- 14日、クロアチア議会は、クルク島LNGターミナル建設事業の早期着工を促すためのLNG法案を賛成多数で可決。
- 19日、アグロコルの暫定債権者審議会は、同社の緊急経営委員会が提案した事業再編に向けた和解協定の最終案について投票を行い、満場一致で採択。
- 20日、独ポルシェ社は、当地電気自動車メーカー・リマツ社の株式を買収することを発表。ポルシェ社による株式保有割合は10%。
- 20日、INA社は、伊系石油会社ENI社と共同で採掘している北アドリア海の天然ガス田について、ENI社が保有する権益を買い取る方針を表明。
- 21日、ザグレブ商業裁判所は、全債権者、暫定債権者審議会、アグロコル緊急経営委員会に対する法廷ヒアリングを7月4日に開催し、同協定案に対する最終投票を行うことを発表。
- 21日、クロアチア政府は、債務不履行等により銀行口座を差し押さえられた市民を救済するため、国及び国営企業に対する一定の債務の免除、現金資産の差押えの制限、破産手続きの簡素化等を内容とする関連法案を閣議決定。
- 23日、クロアチア政府は、MOL社が保有するINA株の購入等について政府に助言を行う戦略パートナーの選定に関して、今年3月、米 Casteleton Commodities International 社から関心表明を受理した旨の声明を発表。
- 27日、クロアチア統計局は、雇用統計を公表。5月の失業率は9.2%と前月の10.4%から低下。
- 27日、クロアチア電力公社は、プリモリエ・ゴルスキ=コタル県等とツレス島太陽光発電施設建設事業(総事業費45百万クーナ)に関する協定に署名。クロアチア最大の太陽光発電施設となり、年間850万キロワットの電力を生産し、2000世帯に供給予定。

## 主要経済指標

(2018年月次データ、政府統計局発表)

輸出総額(4月)	輸入総額(4月)	貿易赤字(4月)	工業生産高(5月) 対前年同月比	インフレ率(5月) 対前年同月比	失業率(登録制)(5月)
330.4億クーナ 44.3億ユーロ (1.0%)	558.1億クーナ 74.9億ユーロ (6.2%)	227.7億クーナ 30.6億ユーロ (14.8%)	-0.7% (4月:-1.3%)	+1.9% (4月:+1.3%)	9.2% (4月:10.4%)

※輸出総額、輸入総額、貿易赤字の括弧内の数字は、対前年同月比。

本クロアチア情勢は、クロアチアの政治・経済情勢を中心に各種報道、発表をとりまとめたものですので、記載事項については在クロアチア日本大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。